

授業科目名	子ども家庭支援の心理学	担当教員名	長谷川 麻衣
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育の対象の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 2講座	特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	<授業の概要> 乳幼児期から高齢期までの発達、子育てを取り巻く社会的状況、多様な家族、特別な配慮が必要な子どもや家庭について学ぶ。また、事例やロールプレイ、ディスカッションを通じて、子どもや家庭について理解を深め、具体的な支援方法について学ぶ。		
到達目標	(1)生涯発達に関する基本的知識を修得し、子どもの発達とその特徴、年代別の発達課題について理解している。 (2)現代における家族・家庭の意義と機能について理解している。 (3)子育てを取り巻く社会的状況について理解している。 (4)多様な家庭、特別な配慮を要する家庭について理解し、適切な支援を行うことができる。 (5)子どもと家族の心の健康に関わる問題について理解し、適切な支援を行うことができる。		
テキスト	「子ども家庭支援の心理学 演習ブック」松本峰雄 監修 (ミネルヴァ書房)		
参考書・ 参考資料等	「完全カラー図解 よくわかる発達心理学」渡辺 弥生監修 (ナツメ社) その他、授業中に指示する。資料プリントは適宜配布		
成績評価の方法	理解度・到達度チェック (筆記形式) 60%、コメントシートの提出20%、課題10%、受講態度10%		
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	事前学習は授業内で指示する。事後学習はコメントシートを提出。 オフィスアワー：授業終了後または質問事項を記載して学務室経由で提出。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション (講義の目的、受講生の心構え) 乳児期の発達	(1),(4),(5)	
第2回	幼児期の発達	(1),(4),(5)	
第3回	学童期の発達	(1),(4),(5)	
第4回	青年期の発達	(1),(4),(5)	
第5回	成人期・老年期の発達	(1),(4),(5)	
第6回	家族・家庭の意義と機能	(2)	
第7回	子育ての経験と親としての育ち	(2)	
第8回	子育てを取り巻く社会的状況	(3),(4)	
第9回	ライフコースと仕事・子育て	(3),(4)	
第10回	多様な家庭とその理解	(3),(4)	
第11回	特別な配慮を要する家庭	(3),(4)	
第12回	子どもの生活・生育環境とその影響	(3),(4)	
第13回	子どもの心の健康に関わる問題①	(4),(5)	
第14回	子どもの心の健康に関わる問題②	(4),(5)	
第15回	授業全体の復習、重要ポイントの復習	(1),(2),(3),(4),(5)	